

第11回 シンポジウム

# 持続可能な水道システムの確立

～強靱化のあり方を考える～

2019年 8月22日(木)、23日(金)

22日：10:00～16:50 交流会：17:05～19:00 23日：9:45～17:00

会場：横浜国立大学 経営学部 1号館 108室

神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-4

主催：「持続可能な水道システムの確立」企画委員会

共催：横浜国立大学大学院 工学研究院

公式Webサイト：

[http://www.v-academia.jp/e\\_swss/](http://www.v-academia.jp/e_swss/)



## 【第 11 回 シンポジウム「持続可能な水道システムの確立」～強靱化のあり方を考える～ 開催概要】

### 【開催趣旨】

水道は重要なライフラインです。我が国の水道技術は極めて高く、国際的にも指導的な立場にあります。しかし一方では施設の老朽化が進み、安定した水供給に障害が発生しつつあることも事実です。

本年も引き続き多くの水道事業者からの要望を踏まえ、第 11 回シンポジウム「持続可能な水道システムの確立」を開催いたします。今回は「強靱化のあり方を考える」と題し、昨今続いている自然災害における対応や備え、強靱化への取り組みなどについて、多数の講演を予定しています。

また、本シンポジウムには毎年多数の方々に参加されており、お互いの交流を深めるとともに情報交換の場としても高い評価を頂いています。

### 【主催】

「持続可能な水道システムの確立」企画委員会

### 【共催】

横浜国立大学大学院 工学研究院

### 【後援（予定）】

厚生労働省 医薬・生活衛生局 水道課、

大阪市水道局、岡山市水道局、神奈川県企業庁、神奈川県内広域水道企業団、川崎市上下水道局、北九州市上下水道局、

神戸市水道局、さいたま市水道局、札幌市水道局、仙台市水道局、千葉県企業局、東京都水道局、

名古屋市上下水道局、新潟市水道局、八戸圏域水道企業団、阪神水道企業団、福岡市水道局、横須賀市上下水道局、

横浜市水道局、塩化ビニル管・継手協会、(公財)給水工事技術振興財団、(公財)水道技術研究センター、

(公社)全国上下水道コンサルタント協会、(公社)日本水道協会、日本水道鋼管協会、

(一社)日本水道運営管理協会、(一社)日本水道工業団体連合会、(一社)日本ダクタイル鉄管協会、

配水用ポリエチレンパイプシステム協会、(公財)横浜観光コンベンションビューロー、(株)水道産業新聞社、(株)日本水道新聞社

### 【協賛（予定）】

(公社)腐食防食学会

### 【運営受託】

株式会社ベンチャー・アカデミア（横浜国立大学 大学研究成果活用企業）

### 【参加費】

2 日間で 14,040 円（本体 13,000 円+税 1,040 円・資料代含む） 交流会参加費は当日会場で 1,000 円をお支払い下さい。

### 【定員】

250 名（先着順）

### 【申込期間】

2019 年 5 月 8 日（水）～7 月 26 日（金）（定員になり次第締切ります。定員に達した後のお申込みはキャンセル待ちとさせていただきます。詳細は公式ウェブサイトにてお知らせします。）

### 第 11 回シンポジウム「持続可能な水道システムの確立」主催者挨拶

「持続可能な水道システムの確立」企画委員会 委員長 清塚 雅彦  
(公益財団法人水道技術研究センター 常務理事)

我が国の急速な経済の成長を支えてきた全国の水道施設、特に管路施設を中心に続々と更新の時期を迎えています。国民の生活に直結するライフラインである水道のサービスを持続しながら、どのように施設を維持管理し更新を進めていくかは喫緊の課題です。昨年のシンポジウム「経営・技術・人材の基盤強化に向けて」には全国の水道事業者をはじめ、予想を超える 255 名ものご参加をいただき大盛況のうちに終了しました。

今回は「強靱化のあり方を考える」をテーマといたしました。強靱化、災害対応、継続をキーワードとして、昨年度発生した自然災害への具体的な対応事例も含め、災害の種類、地域的・事業規模的にも多彩な講演を予定しております。

昨年度と同様に、今回のシンポジウムの内容は必ずご来場の皆様にご満足いただける内容であると確信しておりますので、皆様奮ってご参加下さいますようお願いいたします。また、皆様より関係各部署にご周知していただくことで、より多くの方々のご参加を期待しております。

### 第 11 回シンポジウム「持続可能な水道システムの確立」共催者挨拶

横浜国立大学大学院工学研究院長 梅澤 修

日頃より横浜国立大学大学院工学研究院にご理解を賜りありがとうございます。さて例年開催しております、シンポジウム「持続可能な水道システムの確立」を、本年度も開催の運びとなりました。今回のシンポジウムが水道技術者のキャリアアップや「持続可能な水道システムの確立」の高度化に役立つことを願っております。皆様の一層のご発展をお祈りしております。

【シンポジウムプログラム】

※講演タイトル、講演者は変更になる場合があります。

		演題 / 講師
8月22日 (木) 横浜国立大学 経営学部1号館 108室	10:00~10:15	主催者挨拶： <b>清塚 雅彦</b> 「持続可能な水道システムの確立」企画委員会 委員長 (公財)水道技術研究センター 常務理事
		共催者挨拶： <b>梅澤 修</b> 横浜国立大学大学院 工学研究院長
	10:15~10:20	スケジュール・会場案内
	10:20~11:00	講演：「東京都水道局における自家用発電設備に関する取組」 <b>大槻 尚敬</b> 東京都水道局 総務部 施設計画課 課長代理 (課務担当)
	11:00~11:40	講演：「災害時に備えた民間事業者との燃料供給パートナーシップ協定」 <b>佐々木 誠</b> 横浜市水道局 配水部 配水課 事業管理係長
	11:40~12:40	昼休み
	12:40~13:20	講演：「川崎市における配水池・配水塔の耐震化について」 <b>高橋 勝己</b> 川崎市上下水道局 水道部水道計画課 課長補佐
	13:20~14:00	講演：「横須賀市水道事業の震災対策」 <b>古谷 俊</b> 横須賀市上下水道局 浄水課長
	14:00~14:15	休憩
	14:15~14:55	講演：「福岡市水道局の強靱化に向けた取り組み～渇水対策・リスクマネジメント」 <b>清森 俊彦</b> 福岡市水道局 水道事業管理者
	14:55~15:35	講演：「水道事業の強靱化のあり方を考える ―官民連携における災害対応―」 <b>與三本 毅</b> (一社)日本水道運営管理協会 運営委員長
	15:35~15:50	休憩
	15:50~16:50	<基調講演> 「<<音楽の都ウィーン>>と水文化」 <b>小宮 正安</b> 横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 教授
	17:05~19:00	交流会 (希望者のみ、別途参加費¥1,000) : 横浜国立大学 第一食堂「れんが館」(予定)
8月23日(金) 横浜国立大学 経営学部1号館 108室	9:45~9:50	スケジュール案内
	9:50~10:50	<招待講演> 「水道の災害対策への取り組みのあり方」 <b>平山 修久</b> 名古屋大学 減災連携研究センター 准教授
	10:50~11:05	休憩
	11:05~12:05	<招待講演> 「管工事業界の現状と全管連の災害対策の取り組み」 <b>粕谷 明博</b> 全国管工事業協同組合連合会 専務理事
	12:05~13:05	昼休み
	13:05~13:45	講演：「平成30年7月豪雨 浄水場喪失からのドキュメント」 <b>石丸 孔士</b> 宇和島市水道局 水道局長
	13:45~14:25	講演：「北海道胆振東部地震を主とする複合災害の状況と対応」 <b>阪 庄司</b> 札幌市水道局 給水部長
	14:25~14:40	休憩
	14:40~15:20	講演：「神戸市における水道局と消防局の連携」 <b>林 一平</b> 神戸市水道局 事業部長
	15:20~15:35	休憩
	15:35~16:35	パネルディスカッション：「強靱化のあり方を考える」 コーディネーター： <b>清塚 雅彦</b> 「持続可能な水道システムの確立」企画委員会 委員長 (公財)水道技術研究センター 常務理事  パネリスト： <b>平山 修久</b> 名古屋大学 減災連携研究センター 准教授 <b>石丸 孔士</b> 宇和島市水道局 水道局長 <b>阪 庄司</b> 札幌市水道局 給水部長 <b>林 一平</b> 神戸市水道局 事業部長
	16:35~16:45	閉会挨拶 <b>朝倉 祝治</b> 横浜国立大学 名誉教授
16:45~17:00	修了証授与	

## 【お申込み方法】

### 【E-Mail によるお申込み】

別紙受講申込書に記載されている必要事項をご記入の上、[symposium@v-academia.jp](mailto:symposium@v-academia.jp) まで送信してください。  
(受講申込書はWeb サイトからもダウンロードできます。)

### 【ファクスによるお申込み】

別紙 FAX 申込書に必要事項をご記入の上、045-718-5325 まで FAX 送信して下さい。

株式会社ベンチャー・アカデミア

(住所) 〒230-0045 横浜市鶴見区末広町 1-1-40 横浜市産学共同研究センター研究棟 204

(TEL/FAX) 045-718-5325

(E-Mail) [symposium@v-academia.jp](mailto:symposium@v-academia.jp)

お申込み時にご提示いただいた個人情報は、本シンポジウム運営上の連絡・統計以外には使用いたしません。ただし、お申込み時に希望された方に対しては、今後のシンポジウムのご案内の際に利用させていただくことがあります。

### 【参加費について】

参加費¥14,040 (本体 13,000 円+税 1,040 円) は銀行振込にて 2019 年 8 月 9 日 (金) までに下記の口座にお振込みください。お手数ですが振込手数料はご負担くださいますようお願いいたします。お振込確認後、受講票と詳しい交通案内を電子メールにてお送りいたします。

**三菱 UFJ 銀行 横浜駅前支店 普通 2835353 (株) ベンチャー・アカデミア**

交流会参加費 (自由参加) は当日交流会会場で 1,000 円を現金でお支払い下さい。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

